櫻だより



氷見市立北部中学校 校長室から令和5年4月25日

ほどよい加減

櫻だより? ソメイヨシノから八重桜へと続いてきた桜のリレーも終盤に近付いてきた今頃? まあ、私が普段考えていることの振り返り (アウトプット) の場です。 不定期に発行されます。参考にできる部分があれば活用ください。

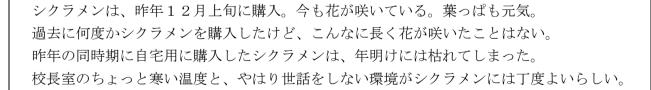
さて、いつも年度当初に思うこと、それは「やりたい」と「やらねば」のバランス。「やりたい(will)」ことだけできれば、人生は楽しいかもしれない。でも、やりたいことだけで仕事と生活が成立するほど人生は甘くはない。「やらねば(must)」ならないことは、たくさんある。特にこの年度当初は must だらけ。must に追いかけられ、must で頭が支配されてしまうと心が折れそうになる。

モチベーションとは、will と must と can (やれそう) の掛け算で決まると教わった。 一つでも「0」があると、モチベーションも「0」になってしまう。 やっぱり、will を大切にして、must の中にも will を見付けていきたい。 といっても、処理しきれない must が重なってくる時期もある。 そんな時、大事なのは HELP! と言い合える職場かどうか。 弱音も言い合い、助け合っていける職場をつくっていきたいものです。

さてさて、校長室のパキラとシクラメンを少し紹介します。 パキラ(写真右)は昨年6月に購入。

新しい葉が数枚出てきた後、9月からは成長が見えず。 「もう新しい葉は出ないのかな」と思っていたら、春になり、 新芽が4本も。新入生のような若々しさが嬉しいですね。 自宅でパキラを育てたときは、水を与えすぎて根腐れになった。

休日ほったらかしのいい加減な育て方が、よい加減になったのかもしれない。



植物と子供は違うけど、いい加減だと思った育て方が、よい加減になる場合もある。 「こう育てなくては(must)」と、愛情(水)のかけ過ぎがプレッシャー(根腐れ)になる場合も。 大事なのは、生命力や伸びる力を信じて、見守り、少しずつ刺激を与えることでしょうか。

will と must のバランス、与える(教える)ことと見守ることのバランス。 どちらも「ほどよい加減」というのは難しいと改めて思う。

「いい加減は簡単だが、良い加減は難しいものだ」 孔子 孔子ですら難しいと感じたことですが、ほどよい加減を見付けていきたいですね。